

2017年3月6日

平成28年熊本地震により発生した災害廃棄物に関するセメント産業の処理量について  
－中間報告－

(一社)セメント協会

はじめに、平成28年熊本地震でお亡くなりになられた方々に対しまして心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

セメント協会は、被災地の一日も早い復興に向け尽力して参る所存であり、セメント産業が有する廃棄物処理技術がお役に立てるよう、積極的に取り組んで参ります。

さて、首記災害に関しましては、昨年5月に環境省/災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)を通して「熊本県における災害廃棄物の適正かつ迅速な処理について(協力依頼)」を受理し、受け入れに関する処理フロー(案)の提供と対応可能な社の窓口紹介を行い、その後、対応可能な個々の会員会社で災害廃棄物の受入・処理が行われてきております。

これまで、複数のセメント工場で受入・処理が行われており、2016年12月末の時点で処理量は32,300トンとなっております。詳細は下記の通りです。

調査対象期間：2016年7月～2016年12月(6ヶ月間)

木くず	： 26,000トン
畳	： 900トン
廃プラスチック	： 1,100トン
瓦	： 4,300トン
計	： 32,300トン

環境省より公表されております「平成28年熊本地震により発生した災害廃棄物処理の進捗状況」(2017年2月14日付)によれば、2016年12月末時点の廃棄物発生推定量として316万t、処理量は107万t、処理進捗率は34%となっており、今後とも災害廃棄物処理へのご支援が必要と思われまます。

引き続き、セメント産業は災害廃棄物を受け入れて1日も早い復旧・復興をご支援して参るとともに、受け入れた廃棄物を復旧・復興に向けた基礎資材となるセメントに生まれ変わらせて供給する役割を担って参ります。

以上

【参考】

災害廃棄物処理支援ネットワーク

[http://kouikishori.env.go.jp/action/d\\_waste\\_net/](http://kouikishori.env.go.jp/action/d_waste_net/)

「平成28年熊本地震により発生した災害廃棄物処理の進捗状況」(環境省、2017年2月14日付)

[http://kouikishori.env.go.jp/archive/h28\\_shinsai/pdf/h28\\_shinsai\\_info\\_170214.pdf](http://kouikishori.env.go.jp/archive/h28_shinsai/pdf/h28_shinsai_info_170214.pdf)